

いちみやの芸術文化



□ 特集 「観桜図屏風と歌川派の浮世絵師たち」

□ 「エッセイ」 器 同派会 加藤昌義

□ 「活動」 五十周年記念リサイタル 一宮音楽家協会 小島祥子

□ 「一宮市芸術祭」のご案内

□ これからの催し

□ 文化講演会「武田双雲」

紙本著色浮世絵肉筆観桜図屏風(部分)

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

観桜図屏風と歌川派の

浮世絵師たち

浮世絵のはじまり

江戸時代の庶民に愛好された文化のひとつに、浮世絵があります。その起源は、江戸時代初期の風俗画であったと考えられており、初期の浮世絵師としては、菱川師宣（？～一六九四）の名が挙げられます。《見返り美人図》で知られる師宣は、このような肉筆の美人画だけでなく、版本挿絵や一枚摺の版画も盛んに制作し、後の浮世絵版画盛行の端緒を開いたといわれています。

浮世絵には、絵師の筆によって描かれた一点物の肉筆画と、木版摺りによる版画に分けられます。特に多色摺りの版画は、それ以前の墨摺りに彩色を施した丹絵や紅絵に比して、その色彩の豊かさから錦絵とも呼ばれています。錦絵は明和期（一七六四～七二）に誕生し、この時期

の代表的な浮世絵師には、鈴木春信（一七二五～一七七〇）がいます。こうした版画技法の発達により、浮世絵は黄金期を迎えることとなりました。

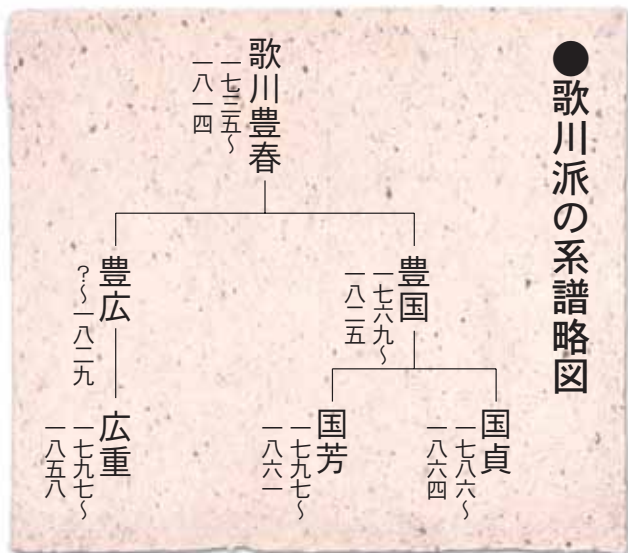
江戸の人気浮世絵師

浮世絵黄金期を迎えた寛政期（一七八九～一八〇一）の江戸の町で、最も高い人気を誇った浮世絵師が歌川豊国（一七六九～一八二五）です。歌舞伎役者の個性を理想的に描き出し、一世を風靡した豊国は、また多くの門人を抱え、歌川派の潮流は幕末明治まで浮世絵界を席卷することになりました。《東海道五拾三次》などの風景画で知られる広重も、歌川派に学んだ絵師です。この歌川派の画風を見ることのできる肉筆画が、実は一宮市に存在しています。愛知県指定文化財にもなっている《紙本著色浮世絵肉筆



▲写真①愛知県指定文化財《紙本著色浮世絵肉筆観桜図屏風》(個人蔵・一宮市博物館寄託)

(右隻)



▲写真②左隻第三扇の隠し落款「文政壬午」「孟夏」

※壬午(みずのえうま)…干支の1つ。 ※孟夏…初夏。陰暦の4月。

観桜図屏風(写真①)です。色とりどりの衣装をまとった老若男女が進む先には、なごやかな花見の情景が描かれています。絵師は不明ながら、画中の器に描かれた落款(写真②)から、文政五年(一八二二)の作品と分かります。肉筆による浮世絵ですが、人物が数人のグループにまとめられ、屏風の継ぎ目を跨がない構図は、二、三枚でひとつの図になる、続き物の錦絵のようです。江戸近郊の王子飛鳥山や品川御殿山などの桜の名所はしばしば錦絵に描かれており、この図はそのような名所絵を屏風に移し替えたものと思われる。歌川派の特徴を備えた人物の顔の描き方は型にはまった感がありますが、ひとり異彩を放つ右隻の右から七人目の、黒の羽織を羽織った武士風の人物「表紙も参照」が、この屏風の注文主かもしれません。

一宮市博物館では、普段非公開のこの屏風絵を特別展「浮世絵展」の期間中、二階の常設展示室にて特別公開として展示します。特別展に出品される広重の《東海道五十三次》などと合わせて、ぜひこの機会にご覧ください。

一宮市博物館 学芸員 成河 端子



(左隻) 写真提供:愛知県庁総務部法務文書課県史編さん室

器

茶道部門

同派会 加藤 昌 義

お弟子さん達が来る時間を見計らいながら、炉に火を入れ、水指、棚、茶器等、座敷に並べる。

障子越しの陽だまりに座り、唯、漫然と膝の上で手の平に茶碗を載せ、器の口造りや、表面に表れている窯で焼かれた釉薬の雨だれに似た流れ具合、それに蛇蝎の見事さ、胴や腰の張りをも強調するかの様に高台に向っている微妙な変化した色合い、無名だが、なぜか愛らしささえ感じる。

「昌君遊んでないで早く飯を食べてしまいなさい。」

いつもお経に似た説教に促され、両手に余る大きな飯茶碗に半分位入ったご飯を、口のまわりに飯粒だらけにしながら、長い箸を持って口に運んだものだが、この仕草を見て「もう少し行儀よく食べられないか。茶碗の持ち方、箸の使い方でお里が知れると言っよ。」



器

友人と共に、茶道を習い始めたのは、昭和三十六年頃であった。それ以来、良き指導者の下、茶道作法、一般教養を学び、現在迄茶道一筋の人生を誇りに思い、親しんでくれた人々に感謝。

器の肌を指のはらで触れた時、すべっとした処、荒々しく、ごつごつした肌、まったり、ふっくらした、そのかたちや色が、それな

りに調和し、自然を思わせ、行儀の良さが伺える。幾多のお客様、お弟子さんが、この器を掌に載せた事であろうか！お弟子さんの中には、結婚のために中断しても、再び嫁ぎ先から、姑、母、友人を共にして習いにくる。こうした人々の手の温もりを器は吸収して、自身の「わびさび」にしたのではないだろうか。



露地の風情

「お行儀」を追求しているのかも
しれない。

「親の意見となすびの花は千に
一つの無駄がない。」

ふと、われにかえると、
「スーツ、チリン、フー、ポク
ッ。」

妙なる音がする。釜からである。
これを古人は「松風」と表した。
風流な「お行儀」ではある。



妙なる音がする茶釜

「お行儀」「お里」の説教は祖母であったか、母であったか。今になっては知るよしもないが、実に奥深く、哲学に似た含蓄のある言葉だ。私にとっては、茶碗を思い出させる言葉でもある。習い事をしていられるお弟子さん達に、心のごとかで、その大切さを理解して

五十周年記念リサイタル

声楽・合唱部門 一宮音楽家協会 小島祥子

私の所属している一宮音楽家協会は、全会員が声楽やピアノ・フルートその他いろいろな楽器の指導者です。その活動は、春のサロンコンサートと秋の定期演奏会で、日頃研鑽している演奏をお客様の前で披露します。その他にも各自で演奏会を行ったり、学校の講師、公民館や自宅でのレッスンなど、指導をしております。

さて、昨年の五月六日に第八回小島祥子五十周年記念リサイタルを開催しました。私は一九八〇年の第一回から一九九八年の第七回まで、数年おきにリサイタルを行ってきました。しかし、その後はもう一度やりたいと思う反面、実行に移す苦勞を考えると中々踏み切れず、間が空いてしまいました。大学を出て五十年経ち、声が出て健康にも恵まれてい



リサイタルより

るリサイタルにすることよりも、聞いてくださるお客様に「今日の演奏会は良かったね」と満足していただくことを考えながら進めました。選曲は、まず一番難題のコーラスの曲を考え、少し

る今こそと奮起して、三年ぐらい前に五十周年リサイタルをしようと決心しました。一人で計画することは大変なことで、会場決め・伴奏者・チラシとプログラムの作成など、考えなければならぬことがとてもたくさんありました。まずはピアニストを大前和代さんにお願ひし、クラリネットを渡辺由香さんに、また長年指導しているコーラスグループ「一宮マザーズ・エコー」の皆さんにも一緒に出演していただくこと、出演者を決めていきました。自分が満足す



クラリネット助奏による演奏

難しいかなと思いなから、一年半ぐらい前からコーラスの練習に入りました。やはり難しい曲は思うように表現できず、曲を変え親しみやすい「三つの汽車の歌（汽車・汽車ポッポ・汽車ぼっぼ）」合唱組曲「時は流れても」より内三曲を選び、一部の後半に設定しました。自分のプログラムは一部の前半は懐かしい外国の歌曲「夢路より」・「庭の千草」他とし、後半は日本の心にしみる歌曲「私たちの花」・「この道」他としました。

第二部は三つに区切り、最初はクラリネットを伴ったモーツァルトのオペラ《テイトの慈悲》、第二曲目は日本の代表的なオペラ《夕鶴》より「つつの aria」の最後の部分にしました。この曲は鶴の恩返しのお話のオペラで、皆さんもよく知っている曲です。二



一宮マザーズ・エコーの皆さん

部の最後は、自分と伴奏者、そしてコーラス全員でディズニーの映画《眠りの森の美女》から「小鳥の歌」「あら不思議」「いつか夢の中で」を歌いました。最初から最後まで歌ったり、指揮をしたり、見る方々に楽しんでいただけよう着替えたりと、二時間余りがあったという間に過ぎました。アンコールにはピュラー曲から「恋のバカンス」を自らの指揮とクラリネット、ピアノ、コーラスで歌い、もう一曲は会場の皆さんと一緒に「赤とんぼ」を歌って幕としました。

このリサイタルは、今まで長い間私を支えてくださった方々にお礼をしたいとの思いで計画をし、コーラスの方々にも協力いただき、素敵な会になりました。お世話になった皆さま、本当にありがとうございました。

第70回 一宮市芸術祭

今年の「一宮市芸術祭」は次のおり開催されず。ぜひお出掛けください。

行事	期日	時間	開催場所	入場料 参加料等	団体
2015 一宮美術作家協会展	8月29日(土) ～13日(日) (31日・7日を除く)	AM9:30~PM5:00 (13日はPM4:30まで)	一宮市博物館	博物館常設展 観覧料200円	一宮美術作家協会
三美会展	9月1日(火) ～6日(日)	AM9:00~PM5:00 (1日はPM1:00~、 6日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館	入場無料	グループ絵ごころ三美会
第17回 桃墨会展	9月8日(火) ～13日(日)	AM9:00~PM5:00 (8日はPM1:00~、 13日はPM4:30まで)	玉堂記念 木曾川図書館		桃 墨 会
第31回 一面会 能・狂言面作品展	9月8日(火) ～13日(日) (10日を除く)	AM10:00~PM6:00 (8日はPM0:00~、 13日はPM4:00まで)	玉堂記念 木曾川図書館		一 面 会
一宮写真協会 選抜写真展	9月17日(木) ～27日(日) (24日を除く)	AM9:30~ PM5:00	一宮市博物館	博物館常設展 観覧料200円	一宮写真協会
第12回 尾西展	9月18日(金) ～23日(祝)	AM9:00~PM5:00 (23日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館	入場無料	尾西美術連合
第26回 手つむぎ・染め・織り展	9月22日(祝) ～27日(日) (24日を除く)	AM10:00~PM5:00 (27日はPM4:00まで)	玉堂記念 木曾川図書館		尾張もめん伝承会
第51回 麗筆会展	9月25日(金) ～27日(日)	AM10:00~PM5:00 (27日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		麗 筆 会
尾西面打会作品展	9月26日(土) ～27日(日)	AM9:00~PM4:30 (26日はAM10:00~)	三岸節子 記念美術館		尾西面打会
第11回 あざみの会 絵画展	10月1日(木) ～4日(日)	AM9:30~PM5:00 (1日はPM1:00~、 4日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		あ ざ み の 会
楽しく描こう会 水彩画展	10月6日(火) ～11日(日)	AM9:00~PM5:00 (6日はAM10:00~、 11日はPM4:00まで)	尾西歴史民俗 資料館		楽しく描こう会
ゆずの会作品展	10月7日(水) ～11日(日)	AM9:30~PM5:00 (7日はPM0:30~、 11日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		ゆ ず の 会
山ぶどうの会展	10月8日(木) ～11日(日)	AM9:30~PM5:00 (11日はPM4:00まで)			山 ぶ ど う の 会
土筆の会展	10月8日(木) ～11日(日)	AM9:30~PM5:00 (8日はAM10:00~、 11日はPM4:00まで)			土 筆 の 会
狂俳大会	10月10日(土)	PM1:00~ PM5:00	葉栗公民館		500円
尾西俳句大会	10月11日(日)	AM10:30~ PM5:00	尾西生涯 学習センター	尾西俳句会	
市民茶会	10月12日(祝)	AM10:00~ PM3:00	真清田神社	1,800円	一宮茶道協会
花畑スケッチブック展	10月15日(木) ～23日(金) (土曜・日曜・祝日を除く)	AM10:00~PM4:30 (23日はAM11:00まで)	ふれあいセンター た く み	入場無料	花 畑
いちのみや文芸2015 発 刊	10月17日(土)	1冊 800円 随想・随筆、現代詩、漢詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の市民文芸集			
文化講演会		PM1:30~ PM3:00	一宮市民会館	入場無料 (要入場整理券)	講師：武田双雲さん (書道家)
一宮シティ合奏団 第22回定期演奏会	10月18日(日)	PM2:00~ PM4:00	アイプラザ宮	500円	一宮シティ合奏団

行事	期日	時間	開催場所	入場料 参加料等	団体
秋季謡曲大会	10月25日(日)	AM9:20~ PM4:30	産業体育館	入場無料	一宮謡曲同好会
第43回一宮音楽家協会 定期演奏会		PM2:00~ PM4:00	アイブラザー宮	500円	一宮音楽家協会
第70回 一宮市民華道展	10月31日(土) ~ 11月1日(日)	AM10:00~PM4:00 (1日はPM3:30まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	一宮華道連盟
一宮吟剣詩舞道大会	11月3日(祝)	AM9:20~ PM4:30		800円	一宮吟剣詩舞協会
俳句大会		AM11:00~ PM4:30		参加無料	一宮俳句協会
一宮現代詩祭	11月8日(日)	PM1:00~ PM4:00		500円	真清短歌会
市民短歌大会		PM1:00~ PM4:30		8,000円	一宮茶道連盟
一宮茶道連盟茶会	11月15日(日)	AM9:00~ PM3:00		妙興寺	
第61回中部日本書道会 一宮支部展	11月21日(土) ~22日(日)	AM10:00~ PM4:00 (21日はPM1:00から)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	(公社)中部日本書道会 一宮支部
尾西芸能祭		PM0:00~ PM4:00	尾西生涯学習 センター		尾西芸能祭実行委員会
尾西華道展・お茶会		AM10:00~ PM4:00 (お茶会はPM3:00まで)			尾西華道展・お茶会 実行委員会
曾山流樹徳吟詠会山瑩会 錬成会		11月22日(日)	AM9:45~ PM4:00		尾西商工会館
一宮三曲協会 定期演奏会	11月23日(祝)	AM10:30~ PM4:30	一宮スポーツ 文化センター		一宮三曲協会
水絵の会展	11月25日(水) ~29日(日)	AM9:00~PM5:00 (25日はPM1:00~、 29日はPM3:30まで)	三岸節子 記念美術館		水絵の会
一宮合唱祭	11月29日(日)	PM0:30~ PM4:20	アイブラザー宮		一宮合唱協会
第5回 雅楽フェスティバル		PM1:30~ PM3:30	一宮市民会館		特定非営利活動法人 旭雅楽会
ガリバンバン 水彩画展	12月1日(火) ~6日(日)	AM9:00~PM5:00 (1日はPM1:00~、 6日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館		尾西ガリバンバンの会
濤聲會漢詩創作教室開設十周年 作品発表会と特別講演	12月3日(木)	AM11:00~ PM3:00	中央図書館		一宮漢詩濤聲會
ファミリーコンサート	12月5日(土)	PM6:00~ PM8:00	アイブラザー宮	一般700円 中学生以下無料	尾西ウィンドオーケストラ
一宮市民吹奏楽団 第40回定期演奏会	12月6日(日)	PM1:30~ PM3:30	一宮市民会館	前売400円 当日500円	一宮市民吹奏楽団
第13回 尾西作家協会展	12月8日(火) ~13日(日)	AM9:00~PM5:00 (8日はPM1:00~、 13日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館	入場無料	尾西作家協会
パレット水彩画展	12月15日(火) ~20日(日)	AM10:00~PM5:00 (15日はPM1:00~、 20日はPM4:00まで)	玉堂記念 木曾川図書館		パレット会

文化情報



「奇跡の一本松」 武山 翠屋

《市および市内公共施設の催し予定》

※一宮市博物館・三岸節子記念美術館
・尾西歴史民俗資料館について

○入館は午後4時30分まで

○月曜休館(月曜日が休日の場合は開館)、休日の翌日休館、12月28日(月)～1月4日(月)休館

一宮市博物館

☎(46)3215

企画展「一宮写真協会選抜写真展」

日時 9月17日(木)～27日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 感性に裏打ちされた表現力で、熱い思いを込めた写真作品を展示します。

観覧料 一般 200円

高大生 100円

「浮世絵展」関連事業

講演会

日時 ①10月18日(日)②11月8日(日)
午後1時30分～3時(開場は30分前)

講師 ①神谷浩氏(国際浮世絵学会常任理事・名古屋市博物館副館長)②前田詩織氏(中山道広重美術館学芸員)

内容 浮世絵や歌川広重の魅力についてご講演頂きます。

会場 妙興寺公民館

定員 150名(要整理券)

※各日、正午より博物館にて整理券を配付。ただし、聴講には本展チケットが必要。

企画展「2015 一宮市現代作家美術秀選展」

日時 11月28日(土)～12月13日(日)
午前9時30分～午後5時

内容 第73回一宮市美術展市長賞受賞者・依頼出品者、一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会推薦者の作品を展示します。

観覧料 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

※市内小中学生・65歳以上無料

三岸節子記念美術館

☎(63)2892

※9月28日(月)～10月2日(金)は臨時休館いたします。

特別展「一宮の文人野村一志と土田麦僊をめぐる画家たち展」

日時 10月3日(土)～11月23日(祝)

午前9時～午後5時

内容 装飾性にあふれた清楚な作品で知られる日本画家の土田麦僊をはじめ、一宮の文人野村一志と交流のあった画家の作品を展示します。

観覧料 一般 800円

高大生 400円

小中生 200円

※市内小中学生・65歳以上無料・常設展観覧料を含む

常設展「三岸節子 ヨーロッパ探訪」

日時 10月3日(土)～1月17日(日)

午前9時～午後5時

内容 心に響く風景を描いた画家は、新的風景画家と成り得たのか。イタリア、スペインに広がる情景を、独自の風景画作品に問います。

観覧料 ● 一般 320円

高大人 210円

小中生 110円

※市内小中生・65歳以上無料・特別展期間中はその観覧料に含む

尾西歴史民俗資料館
☎(62)9711

※8月31日(月)～9月19日(土)は臨時休館
いたします。

秋季特別展

「いちのみやの山車祭り」

日時 ● 10月17日(土)～11月23日(祝)

午前9時～午後5時

内容 ● 地域の山車祭りについて紹介
いたします。

観覧料 ● 無料

「いちのみやの山車祭り」関連事業
ギャラリートーク

日時 ● 10月25日(日)

午後1時30分～2時30分

内容 ● 担当学芸員が特別展の見どころを解説します。

※聴講無料

講演会

日時 ● ①11月1日(日)②11月15日(日)

午後1時30分～3時

講師 ● ①鬼頭秀明氏(一宮市文化

財保護審議会委員)②久保

智康氏(叡山学院教授)

内容 ● ①一宮の山車祭りの系譜

②飾り金具からわかる山車の系譜とその歴史

※聴講無料

歴史講座

「美濃路探訪 秋～美濃偏」

日時 ● 10月18日(日)

午前9時～午後5時

内容 ● 美濃に残る美濃路の史跡を見学します。

定員 ● 35名

※要参加費・要申込み。詳しくは9月号広報を参照。

「第15回もみじまつり」

日時 ● 11月21日(土)・22日(日)

午前10時～午後3時30分

(お茶会は3時まで)

内容 ● 旧林家住宅を会場にお茶会や山野草展、箏の演奏などを2日間にわたり催します。

入場料 ● 無料(お茶会は300円)

「桂九雀 落語会」

日時 ● 11月23日(祝)

午前10時～午後2時(予定)

内容 ● 創作落語「朝抹茶」を鑑賞

し、江戸時代の料理を味わいます。

※要参加費・要申込み。詳しくは10月号広報を参照。

中央図書館

☎(72)2343

一宮市立図書館100周年記念展

日時 ● 12月4日(金)～17日(木)

午前9時～午後9時

内容 ● 一宮市立図書館100年のあゆみを紹介いたします。

会場 ● 6階 多目的室2

観覧料 ● 無料

一宮市民会館

☎(71)2021

鼓童ワン・アース・ツアー201

5～永遠 演出 坂東玉三郎

太鼓芸能集団「鼓童」

日時 ● 9月27日(日) 午後6時30分

～(開場は30分前)

入場料 ● S席 5,500円

A席 4,000円

※全席指定・未就学児入場不可

「第11回 うたごえ喫茶」

あの素晴らしい青春をもう一度

～肩寄せ、歌いかわそう心のうたを～

日時 ● 11月21日(土) 午前10時30分

～(開場は30分前)

会場 ● 1階大会議室

入場料 ● 1,200円

※全席自由・未就学児入場不可

※お飲み物、お菓子付き

一宮市観光協会

☎(28)9131

「素人ちんどん祭」

日時 ● 10月18日(日)

午前9時～午後4時

内容 ● アマチュアが参加するチンドンコンクールやパレード、太鼓や大道芸のショーを行います

会場 ● 萩原商店街

入場料 ● 無料(以下同じ)

「びざいまつり」

日時 ● 10月24日(土)・25日(日)

午前9時30分～午後4時

内容 ● 十二単を着た織姫が輦台に担がれて登場する「織姫パレード」などが行われます。

会場 ● 市尾西庁舎周辺

「第39回一宮菊花大会」

日時 10月31日(土)～11月8日(日)

午前9時30分～午後5時

(31日(土)は10時～)

内容 菊の愛好家が丹精こめた作品の数々を一堂に展示します。

会場 国営木曽三川公園1387

フーパーク



ます。(初心者歓迎)

参加料 年3,000円

申込み 当日直接会場

「狂俳月例会」

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(51)2286

日時 9月12日(土)・11月14日(土)

12月12日(土) 午後1時～

会場 葉栗公民館

内容 各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。(初心者歓迎)

参加料 無料

「市民短歌教室」

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時 9月13日(日)・10月11日(日)

12月13日(日) 午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

「清聲會定例会」

【問合せ先 一宮漢詩清聲會】

☎(78)7953

日時 9月26日(土)・10月24日(土)

11月28日(土) 午前10時～

会場 中央図書館

内容 漢詩文の基本的な読み方をはじめ、作者の時代背景にも触れながら初めての方にも分かりやすく「唐詩三百首」を解説します。(初心者歓迎)

講師 三島徹氏(東洋文化振興会 会長)

参加料 月2,000円

申込み 当日直接会場

「市民俳句教室」

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時 9月27日(日)・10月25日(日)

11月22日(日)・12月20日(日) 午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 当季雑詠3句を一宮市民俳句教室委員が指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

「市民川柳教室」

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(45)6951

日時 9月27日(日)・10月25日(日)

11月22日(日)・12月20日(日)

午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

「馬場獅子屋形打囃子保存会 秋祭」

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時 10月18日(日) 午後1時～

会場 熱田社千秋町加納馬場 他
内容 道行打囃子を演奏しながら獅子屋形を曳き回します。

「秋の市民俳句吟行会」

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時 10月23日(金) 午前9時～

行先 恵那峡(恵那市)他

定員 40名(定員を超えた場合は抽選)

対象 どなたでも

参加料 500円(昼食は持参も)

申し込み 9月24日(木)までに事務局へ連絡 ☎(85)7075

しくは目的地で購入可)

申し込み 9月24日(木)までに事務局へ連絡 ☎(85)7075

※当日、別会場にて句会も行います。

『重吉甘酒祭保存会 甘酒祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼10月25日(日) 午後2時～

会場▼八幡神社(丹陽町重吉)

内容▼神前に甘酒と強飯を供え、

お神楽を奉納します。甘酒

と強飯は参拝者に振るまわ

れます。

《県文化協会連合会の催し》

「第40回愛知県文連美術展」

会期☎9月29日(火)～10月4日(日)

午前10時～午後6時

(2日は午後8時まで、4日

は午後4時まで)

会場☎愛知県美術館ギャラリー

入場料☎500円(前売400円)

高校生以下無料

※生涯学習課で前売りしています。

「愛知県民茶会」

期日☎10月18日(日)

午前10時～午後3時

会場☎扶桑町中央公民館

扶桑文化会館

設席☎一宮茶道連盟他

茶券☎前売券800円(2席)

当日券500円(1席)

※生涯学習課で前売りしています。

「西尾張部芸能大会」

期日☎11月29日(日)

午後1時15分～(開演予定)

会場☎弥富市総合社会教育センター

入場料☎無料

当協会出演団体☎津軽三味線恋糸

(邦楽部門)

『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体の活動情報を募集します。掲載を希望される団体は、発行月3・6・9・12月の前々月15日までに、下記の必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

必要事項 ①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場 ⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

提出先 〒491-8501 一宮市芸術文化協会事務局(住所不要) または FAX 0586-73-9213

第73回

一宮市美術展

開催要項

【会期】11月12日(木)～15日(日) 午前

9時30分～午後5時(最終日は

4時30分)

【会場】一宮スポーツ文化センター

(一宮市真清田1-2-30)

【募集種目】日本画/洋画/彫刻/立

体/工芸/デザイン/書/写真

【主催】一宮市・一宮市教育委員会

【作品搬入】11月7日(土)・8日(日)

午前9時30分～午後5時

【出品規定】1種目につき1人1点

とし、他の公募展・コンクール

に未発表の作品に限る。中学校

卒業以上の年齢の者で、市内市

外は問わない。

【出品料】無料

【規格】

日本画▼20号以上100号以内で

額入り。ヒートン及び吊ひも(又

は針金)を取り付けておくこと。

洋画▼20号以上150号以内で額

入り。版画は4号以上で額入り。

ヒートン及び吊ひも(又は針金)

を取り付けておくこと。

彫刻・立体▼制限なし。(安定して

展示できる作品)

工芸▼制限なし。壁面展示の作品

にはヒートン及び吊ひも(又は

針金)を取り付けておくこと。

デザイン▼A2サイズ以上B1サ

イズ以下でパネル張り。小型は

パネルに構成。ポスターフレ

ム可。(ポスター・イラスト・C

G等表現自由)ヒートン及び吊

ひも(又は針金)を取り付けてお

くこと。

書▼仕上がり寸法は91cm×91cm

(3尺×3尺)又は半切以上・1

76cm×48cm以下。縦横自由。

枠張り又は額装。篆刻は二印以

内で印影のみとし、縦39cm×横

30cmとする。刻字は1㎡以内と

する。規定の用紙に墨書(パソコ

ン可)による釈文を添付するこ

と。

写真▼全紙以上でパネル張り。(木

製パネルに限る)額不可。ただ

し、組写真は半切以上2枚以内。

(作品裏面で固定すること)

【作品搬出】11月15日(日)午後5時～

7時(予備日)11月17日(火)午前9

時30分～11時30分

【問い合わせ先】一宮市教育委員会

生涯学習課 生涯学習・文化グル

ープ☎(0586)85-7075

平成27年度

文化講演会

入場無料

※整理券が必要です
※当日は、手話通訳がめいめい



武田 双雲さん(書道家)
たけだ そうじゆん

プロフィール 熊本県出身。3歳より書家である母・武田双葉に師事。東京理科大学理工学部卒業後、一般企業へ就職。その後、書道家として独立し、映画や大河ドラマなど、数多くの題字を手がける。近年は音楽家や彫刻家などとのコラボレーションや斬新な個展など、独自の創作活動を行っている。

人生が変わる 言葉の力・書の力

10月17日(土) 13:30~15:00
(開場は30分前)
一宮市民会館 (一宮市朝日2丁目5番1号)

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

整理券

※入場無料ですが、整理券が必要です。(満席の場合は、入場をお断りすることがあります)整理券は9月16日(水)より本庁舎4階生涯学習課、尾西生涯学習センター(尾西庁舎)、尾西南部生涯学習センター、木曾川事務所総務管理課(木曾川庁舎)、各出張所、中央・玉堂記念木曾川図書館、一宮市民会館、一宮スポーツ文化センターで配布します。

お問い合わせ先

一宮市芸術文化協会事務局(市生涯学習課内) ☎0586-85-7075(直通)

※当日、ロビーにて『いちのみや文芸2015』(1冊800円)を販売します。

主催/一宮市教育委員会・一宮市芸術文化協会

[題字] 武山翠屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7075 / FAX 0586-73-9213